

会 派 代 表 質 問

(通 告 内 容)

令和 6 年 1 2 月

那須塩原市議会定例会議

【質 問 者】

【令和 6 年 1 2 月 2 日 (月)】

- 1 9:25～ シン・那須塩原
議席番号 7 番 森本 彰伸 議員
- 2 10:50～ 公明クラブ
議席番号 6 番 田村 正宏 議員

受付番号	令和 6 年 11 月 15 日
第 2 号	午 前 5 時 0 0 分 受 付 <u>午 後</u>

令和 6年11月 15 日

那須塩原市議会議長 山 形 紀 弘 様

会派名 シン・那須塩原
議席番号 7番 森 本 彰 伸

会 派 代 表 質 問 通 告 書

令和6年12月那須塩原市議会定例会議における会派代表質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 新庁舎の目的と役割について	合併当初より市民との約束として、那須塩原駅周辺に新庁舎として建設することは計画されていましたが、その後、東京オリンピックなどの影響により建設費や労務コストの高騰が伝えられていることや合併特例債の発行期間も令和6年度まで延長されたことを踏まえ、新庁舎の計画は東京オリンピック以降まで延期することになりました。新庁舎の目的やあり方も時代の流れや新型コロナウイルスの蔓延による社会情勢の変化などにも影響を受けながら現在の計画になったと認識しております。 現在計画されている新庁舎は100億円を超える建設工事費が見込まれており、実際に建設が始まればさらに経費はかさむのではないかとされています。燃料や資材の高騰などにより、仕方がない部分があることは理解しますが、市民の大切な税金が大きく投入される事業であり、建設にあたっては市民の十分な理解を得ながら進めていく必要があります。 新庁舎が市民の幸せのための物であること、そして少しでも市民の負担が少なく建設し運営されるように工夫することが大切であると考えます。新しくできる那須塩原市の庁舎が全ての市民の理解のもと、市民福祉の向上に役立つ庁舎となることを望み以下の事についてお伺いします。 (1) 市長の考える新庁舎の役割について

	(2) 基本設計・実施設計業務委託にかかる、公募型プロポーザルの経緯と結果について (3) 現時点での新庁舎建設にかかる費用について (4) 新庁舎建設にあたり国から受けられる補助金や活用できる起債について (5) 新庁舎の維持管理にあたり、経費削減の手法の検討状況について (6) 新庁舎での収益事業の可能性について (7) 面積の広い那須塩原市の庁舎として、遠方の市民の利便性向上の手法について (8) JR との連携の可能性について
2. 令和 7 年度予算編成にあたっての重点推進テーマへの考えについて	令和 7 年度の予算編成にあたっては、「第 2 次那須塩原市総合計画後期基本計画」にそった予算編成がされることと認識しています。その中にあげられている重点推進テーマは令和 7 年度の予算編成の中でも重要な意味をもち、予算編成の要となる項目だと考えます。これまでも、本市の将来像の具現化に向けて推進されてきたテーマではありますが、令和 7 年度の予算編成にあたり、特にこれらの重点テーマにどう予算が振り分けられるのかは、今後厳しい財政状況下、市民に対しどのような市政運営を行っていくのかをご理解頂くに当たり重要であると考えことから、以下のことについてお伺いいたします。 (1) ニューノーマル(新たな社会)づくりに関する予算について (2) デジタル・トランスフォーメーション(DX)の推進に関する予算について (3) ゼロカーボン達成に向けての予算について (4) 県北の拠点づくりに関する予算について (5) 既存事業の見直しの具体的状況について

受付番号	令和 6 年 1 1 月 1 5 日
第 1 号	午 前 3 時 0 0 分 受 付 午 後

令和6年11月15日

那須塩原市議会議長 山 形 紀 弘 様

会派名 公明クラブ
議席番号 6 番 田村 正宏

会 派 代 表 質 問 通 告 書

令和6年12月那須塩原市議会定例会議における会派代表質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 （ 詳 細 に ）
1. 「GIGA スクール構想」にもとづく市の取組について	「GIGA スクール構想」の主な目的は、「多様な子供たちを誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを全国の学校現場で持続的に実現させること」とされています。構想スタートから5年が経過した現在の本市における現状と課題及び将来の展望について伺います。 (1) 「GIGA スクール構想」第1期における取組と検証について ① 本市におけるハード及びソフトの整備状況及び活用状況について ② 利活用における学校間格差及び児童生徒の個人間格差について ③ 支援を必要とする児童生徒及び不登校児童生徒、外国人児童生徒に対する利活用と効果について ④ 教職員及び児童生徒に対する情報モラル教育・リテラシー教育について ⑤ 「GIGA スクール構想」の推進により成果は顕在化しているか ⑥ 校務のデジタル化の現状と課題について ⑦ 教職員の業務負担の削減効果について

2. 投票率向上について	(2) 「GIGA スクール構想」第 2 期における取組と展望について ① デジタル教科書及びデジタル教材の導入による効果と今後の展開について ② 「GIGA スクール構想」の下で整備された端末の更新に伴う諸課題への対応について ③ 生成 AI の児童生徒の適正利用について ④ 生成 AI の校務での活用について ⑤ デジタルとアナログの共存について 選挙への投票は、市民が自らの意思を政治に反映させる重要な手段です。しかし、近年の選挙においては投票率の低下が顕著であり、将来の民主主義を維持するための有効な対策が必要と考えることから以下について伺います。 (1) 本市における投票率の現状と課題について (2) 投票率を維持向上させるための環境整備について
---------------------	---